

授業科目	精神保健特講 Mental Health			担当教員	齊藤 晋治		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1・2 年/前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>精神保健の領域において、精神疾患をもつ人々のとらえ方は伝統的な医学モデルから、「エンパワメント」、「リカバリー」、「レジリエンス」など、その人の体験や挑戦を尊重するとらえ方へと変化してきた。それに伴い、ソーシャルワーカーの役割も代弁能力等の人権意識を基盤とした、幅広い知識や問題解決能力を備えた質の高いソーシャルワーカーが必要になってきた。本特講では現場におけるソーシャルワーカーの役割形成から実践力理解し、実践に即した内容で展開する。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	文献に関連する話題、事例を示し、他の発表に質問や意見を出したりすることができる			ディスカッションへの参加度		25%	
思考・判断	精神保健医療福祉に関する文献を読み解き、それに関する自分の考えを示すことができる			課題レポートの発表内容		25%	
技能・表現	精神保健医療福祉に関する文献を読み解き、それをレジュメとして表現することができる			課題発表のレジュメ		25%	
知識・理解	文献を読むにあたり必要となる背景、知識を調べ、整理して説明することができる			課題レポートの発表内容		25%	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>担当か所の課題発表、レジュメ作成を行う。レジュメは適切な項目をたて、内容を正確に、簡潔に、わかりやすく表現できているかを評価する。課題レポートの発表では、理解した内容、理解に困難を感じた内容について、著者の考えと自分の考えをわかりやすく伝えることができているかを評価する。発表内容はレポートとしてまとめ、提出する。課題・レポートのフィードバックは授業内に行なう。</p>							
授業の概要							
<p>各々が文献の担当か所のレジュメ作成と発表を行い、それを中心にディスカッションするなど文献購読の形式で、精神保健分野の「臨床における具体的な支援のあり方」、「社会福祉現場実践」について学び、理解を深める</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：「ソーシャルワーカーの「役割形成」プロセス - 「違和感のある仕事」から組織活動への実践モデル 岩本操 (2015年) 中央法規 参考書：適宜紹介する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>精神保健福祉に関わる現場における実践に関心を持ち、精神保健福祉に関する情報収集を行い、知識と技術の双方向からの視点における理解について考察していく。精神保健福祉分野の現状と課題に広く関心を持ち、専門職能団体による研修や佐世保市の精神保健福祉活動などに積極的に参加して、当事者と現場の声に耳を傾け、心を寄せ、学んでほしい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	講義の概要、進め方、評価等の確認を行う	予習：自分の研究テーマを説明できるようにする 復習：研究テーマを本科目と関連付け、課題意識を持つ
2	ソーシャルワーカーの専門職性をめぐる問題	第1節 問題現象 第2節 ソーシャルワークの「役割形成」 精神科病院におけるソーシャルワークへの焦点化	予習：「序章」を読む 復習：専門職性議論の歴史について考察する。
3	ソーシャルワーカーの専門職性と自己規定①	専門職性の追求 日本における専門職論の展開	予習：教科書「第1章」を読む 復習：ソーシャルワーカーの専門職性について理解できる
4	ソーシャルワーカーの専門職性と自己規定②	実践から生成される専門職 組織に対する関心の低さ	予習：教科書「第1章」を読む 復習：社会福祉実践における「臨床的な意味」を説明できる
5	ソーシャルワーカーの専門職性と自己規定③	自己矛盾を生み出す要因とその課題	予習：教科書「第1章」を読む 復習：ソーシャルワーカーの自己矛盾を説明できる
6	病院組織とソーシャルワーカー①	病院組織の特性とソーシャルワーカーの立場性 精神科病院の特徴—その変遷と今日の動向	予習：教科書「第2章」を読む 復習：精神科病院のソーシャルワーカーの立場性を理解する
7	病院組織とソーシャルワーカー②	精神科病院におけるソーシャルワーカーの立場性 ソーシャルワーカーの抱える「違和感」	予習：教科書「第2章」を読む 復習：「違和感」について説明できる
8	ソーシャルワーカーの役割形成プロセス①	ソーシャルワーカーの役割形成プロセスの研究法 M-GTAの理解	予習：教科書「第3章」を読む 復習：M-GTAを理解する
9	ソーシャルワーカーの役割形成プロセス②	ソーシャルワーカーの役割形成プロセス研究の分析の方法と手順	予習：教科書「第3章」を読む 復習：研究法と分析を理解する
10	ソーシャルワーカーの役割形成プロセス③	ソーシャルワーカーの役割形成プロセス研究の結果と考察①	予習：教科書「第3章」を読む 復習：「役割形成」を理解する
11	ソーシャルワーカーの役割形成プロセス④	ソーシャルワーカーの役割形成プロセス研究の結果と考察②	予習：教科書「第3章」を読む 復習：役割形成プロセスの結果について説明できる
12	PSWが成し得たこと—組織改革とアイデンティティ再考①	双方の利益を結びつけるプロセスの提示 組織活動のプロセスを理論化する意義	予習：教科書「第4章」を読む 復習：組織活動のプロセスを説明できる
13	PSWが成し得たこと—組織改革とアイデンティティ再考②	アイデンティティの止揚によるミッションの具体化 「対抗」から「触媒」への視点 多元的ポジショナリティの自覚	予習：教科書「第4章」を読む 復習：PSWのアイデンティティについて説明できる
14	「役割形成」モデルの意義と課題	「役割形成」モデルの汎用性 今後の課題と展望	予習：教科書「第5章」を読む 復習：今後の課題を整理する
15	まとめ	ソーシャルワーカーの役割形成のプロセスからソーシャルワーカーの存在意義を考える	予習：これまでのレジュメを読み整理をおこなっておく 復習：今までの講義内容を理論と実践の中で説明できるようにする